

季刊誌

vol. 16

2017.4春

Contents

入職式	P1
回復期リハビリテーション病棟協会 第29回研究大会in広島	P3
ST紹介	P4
院内旅行	P5
My Favorite	P6

羽
たば
たき
し



一般社団法人 巨樹の会



赤羽リハビリテーション病院

平成 29 年度

入職式

新入職員あいさつ



看護師 荒井麻里
獨協医科大学卒業

4月1日に挙行された入職式を終え、これから赤羽リハビリテーション病院のスタッフの一員となるという実感が湧いてきました。また、院長をはじめスタッフの方々に温かく迎え入れて頂き、こちらに入職できたことを大変うれしく思います。このグループの一員として巨樹の会の理念や基本方針を意識し、看護師として責任ある行動が取れるよう努力していきます。そして、患者様の思いに寄り添い、常に笑顔で接することが出来るように尽力していきたいと思っています。知識や技術で未熟な面も多く、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、精一杯頑張りますので、ご指導の程よろしくお願い致します。



ケアワーカー 榎本優子

私は、実体験を持って、リハビリの大切さを十分知る事ができました。主人は15年前、交通事故により両下肢麻痺、その1年後に脳出血のため左半身麻痺となり、言葉を何一つ発することができませんでした。10年近く2人で毎日リハビリを続け、主人は車椅子生活ではあるものの、今では1人で身の回りのことはできるようになりました。リハビリは本人にとっても辛いことだと思います。でも、継続することの大切さも知りました。そんな折、主人の勧めもあり資格を取得し、今度は社会復帰に向けてリハビリを頑張っている人の為に、微力ながらも、お手伝いができたらと思い、赤羽リハビリテーション病院に勤務させていただくことになりました。どうぞよろしくお願い致します。



理学療法士 奈良敬一郎
北海道医療大学卒業

国家試験がゴールではなく、これからが本当のスタートなので、気を引き締めて頑張ります。趣味はランニングです。ランニングは自分との戦いや色々なことを考えて走ります。患者様も病気の苦しさや、自由に動けなくなったことにもどかしさや痛みなど僕の想像以上の苦しさや戦っていると思います。その辛さや苦しみを少しでも減らし、退院後の生活が送りやすくなるように、僕達の仕事はあると思っていますので、まずは勉強を第一に少しでも多くの知識を身に付けたいです。「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」がこの病院の、またグループ全体の理念であり、本当にその通りだと思います。どれか一つでも欠けてしまわないようにこれからの生活を送り、努力していきたいと考えています。よろしくお願い致します。



作業療法士 藪田典子
大阪医専卒業

私の出身は大阪です。小さい頃から手芸や木工など手工芸が好きで、医療にも興味があった為、作業療法士になることを目指しました。実習や試験を乗り越え、やっと憧れの作業療法士になれましたが、今はまだ作業療法士と名乗ることに緊張感や恥ずかしさがあります。これからたくさん経験を積み、自信を持って名乗れるようになりたいと思います。新しい生活で緊張と不安でいっぱいですが、適度な緊張感を持ちつつ、ベストパフォーマンスができるように頑張ります。よろしくお願い致します。



言語聴覚士 岡田お涼
仙台医療福祉専門学校卒業

学生時代は、患者様の気持ちに寄り添えられるような言語聴覚士になりたいと考えていました。知識や技術を習得していることはとても重要なことですが、患者様の気持ちやニーズ、信頼関係を一番大切に、リハビリを行っていきたくと思います。「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」が病院の理念ですが、私はこの理念が大好きで、目指す言語聴覚士像でもあります。今は入職したばかりで不安でいっぱいですが、少しでも自分の目指す言語聴覚士になれるよう、日々学んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



4月1日入職式を執り行いました。
新入職者の辞令交付では緊張した面持ちながらも、元気な声に、これから当院の一員として貢献していくという強い思いが伝わってきました。
総勢49名の新たな仲間を迎え、さらに活気あふれる病院になりました。
本年度もより良い医療を提供できるよう職員一丸となって頑張ってまいります。



ポスター発表

「Gait Judge System を使用し装具の選択を行い歩行の向上がみられた一症例」



理学療法士
中島 亨

研究から現在のリハビリで必要とされてきていることは、知識や経験はもちろんのこと、患者様にもわかりやすく理解してもらえようとする客観的なデータであるということもわかりました。研究大会に参加させていただき、多くの理学療法士や他職種と意見交換も行き、良い刺激を受けました。今回の経験を活かし、より良い医療・リハビリを提供できるようにしていきたいと思っております。

Gait Judge System とは、**Gait Solution** シリーズ、クレンザック足継手に専用のアタッチメントを取り付けた状態で歩行することで、装具装着時の歩行中に生じる底屈制動力と関節角度を測定する機器です。



口述発表

「車椅子シーティングクリニック報告～退院後に在宅で使用している車いすの種類と分析～」



理学療法士
力丸 泰山

今回の研究を踏まえ、今後も入院中の患者様へ車椅子や福祉用具の適合の評価を行い、退院される患者様へ安全で安楽な物品をおすすめできるようにしていきたいと思っております。

車椅子シーティングとは、車椅子座位を続ける方の心身機能や生活状況を考慮し、良好な座位姿勢が確保できるように、**車椅子**を調整することです。



GOLD 金賞受賞!!

第8回 関東カマチグループ合同学術研究大会

平成29年2月25日

口述発表

「職場の活動時間延長に向けた取り組み～職場環境における訪問リハビリを経験して～」



理学療法士
嶋原 良

訪問リハビリテーションに関わっている 1 症例についての活動内容を発表させて頂きました。今回の発表を通し、多くの助言を頂き、自分自身の成長にも繋がる学術大会でした。今後は、頂いた助言を活かし、更なる訪問リハビリテーションの発展に貢献したいと思っております。



ST 言語聴覚士 紹介

Speech-Language-Hearing Therapist

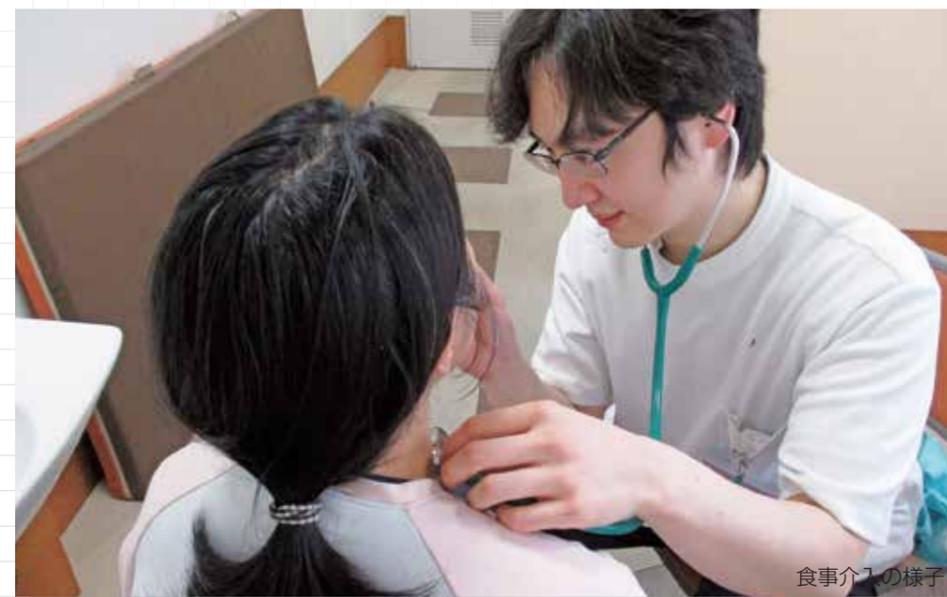


言語聴覚士 小川 舞

赤羽リハビリテーション病院の言語聴覚士 (Speech-Language-Hearing Therapist;ST) は、現在 28 名在籍しています。脳血管疾患や廃用症候群が原因で「言葉が上手く話せない」、「記憶力や集中力が落ちてしまった」、「食べ物が入り込み飲み込めない」といった症状をお持ちの患者様を中心に、言葉の練習や食べ物の飲み込み練習を実施しています。また、当院独自の取り組みとして、耳鼻咽喉科の医師による VE (嚥下内視鏡検査という機材を使用し飲み込みの機能を評価すること)の実施や、医師を含めた勉強会、NST 委員会(患者様の栄養状態の管理)を定期的に開いています。今後も、患者様の心に寄り添える楽しいリハビリテーションを目指し、明るく元気に頑張っていきます。



言語訓練の様子



食事介入の様子

院内旅行



苗場スキー場



リハビリテーション科
会田 直弥

平成29年2月4・5日に苗場スキー場に院内旅行へ行かせて頂きました。新幹線を利用して、東京駅から越後湯沢駅まで向かい、そこからスキー場のバスに乗り現地へ向かいました。天候には恵まれず、吹雪いていました。泊まりで行く機会も少ないので、ナイターまで滑ることができました。その後、温泉などにもゆっくり浸かり、旅行を満喫することが出来ました。翌朝も早くからグレンデを滑る事も出来ました。非常に楽しめた2日間となりました。



ウルフギャングステーキハウス



リハビリテーション科
那須野 春香

今回、院内旅行にて、ウルフギャングステーキハウス丸の内店での豪華ステーキディナーを堪能させていただきました。このお店では、アメリカ農務省の格付けで最上級品質と認定された「プライムグレード」の牛肉のみを使用しているそうです。身がぎっしりしているけれど、柔らかく、とても食べ応えのあるステーキを頂くことが出来ました。前菜やデザートも濃厚で美味しかったです。



my favorite

私のお気に入り



ケアワーク5階
山森 勇一

当院に入職する前は鉄道会社に勤めていました。休日には同僚と小田急のロマンスカーで箱根に行くこともありましたが、最近は、少なくなりました。先日新潟に帰省した際、『E4系MAXとき』に乗りました。窓から見える雪景色といい、車内アナウンスといい、改めて鉄道の旅は、いいなと思いました。仕事では何度も乗りましたが、いつか北陸、東北、北海道新幹線のグランクラスに乗って豪華な旅をしてみたいです。



リハビリテーション科
茂木 直子

夜間部の学校に通いながらの国家試験受験と、その後の就職を言い訳に、ここ数年家事をおろそかにし続けた結果、自宅は物で溢れ、荒れ放題となっていました。「このままではいけない」と気付き、「片付ける」ことを日々の生活の1つの目標にしています。まずは1日1つ、長い間使っていない物を捨てることを続けています。感謝と一抹の寂しさのあと、スッキリ感が癖になりそうな毎日です。家も少し広くなりました(笑)。

整理整頓



看護師2階
島田 厚子

入職してから私の一番のお気に入りは、病院の6階から富士山を眺めることです。東京に出てきてから数十年経ちますが、じっくりと富士山を見たことがなかったので、改めて富士山の美しさと壮大さに感動しました。新しい回復期看護の現場で、気持ちを新たに精一杯仕事に取り組んで行こうと思います。



総務科
水島 湧

私は、4歳の頃から19年間、柔道をしていました。小学生の頃は柔道が嫌いで、練習に行きたくないとよく泣きながら駄々をこねていました。しかし、中学3年生の時、団体戦で岡山県大会優勝を果たし、全国大会に選手として出場する事が出来ました。全国大会では成績すら残せなかったものの、貴重な体験をすることができ、とても光栄に思います。柔道を通して学んだことを、職場でも活かしていけるよう精進していきます。



グループ病院のご紹介

新久喜総合病院



新久喜総合病院は、元はJA埼玉県厚生連が経営する公的病院であり、開設5年の急性期病院でしたが、本年4月1日より巨樹の会に経営移譲されグループ病院の仲間入りをし、「新久喜総合病院」として24時間365日「断らない病院」として生まれ変わりました。

病院概要

開設：2016年4月1日
 診療科目：内科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／代謝・糖尿病内科／腎臓内科／神経内科／外科／心臓血管外科（新設）／呼吸器外科／整形外科／脳神経外科／乳腺外科／形成外科／皮膚科／泌尿器科／婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／救急科／病理診断科
 病床数：300床 一般病棟：194床 ICU：8床 回復期病棟：98床
 看護基準：入院基本科：7対1 回復期：13対1
 看護単位：一般病棟4病棟・回復期病棟2病棟・ICU・手術・外来
 救急搬入患者数：月約600件
 手術件数：月約150件～200件
 随時スタッフ募集！

- 所在地 埼玉県久喜市上早見418-1
- お問い合わせ先 TEL 0480-26-0033

江東リハビリテーション病院



平成29年
10月オープン
予定

オープニングスタッフ募集!

総勢200名以上の新規採用を予定!!

募集職種 医師・看護師・准看護師・看護補助者・
社会福祉士・薬剤師・管理栄養士

たくさんのご応募お待ちしております!

- 所在地 東京都江東区北砂2-15-27 ハビリス西大島201号室
江東リハビリテーション病院 開設準備室
- お問い合わせ先 TEL 03-6880-1555

赤羽リハビリテーション病院にて 病院見学実施中!

お電話でお申込下さい。

看護師入職お祝い金制度

看護師の方は、採用させていただいた場合、入職月翌月に

入職祝金**30万円** (税込)を支給いたします。

但し、紹介業者からの紹介の場合はこの制度は除外とさせていただきます。

はじめ
ました



医療連携室

新年を迎えてから早くも3ヶ月が過ぎ、暖かい陽気に春の足音を感じます。

当院に入職してから今年の7月で3年目になります。入職前は一般病棟と療養病棟を持つケアミックス病院でソーシャルワーカーをしていました。そこでの経験が役立つ一方で、現在の回復期のリハビリテーション病院で新しく学ぶことも多く、日々、自己研鑽の必要性を感じています。

ソーシャルワーカーの業務では、患者様やご家族に関わらせて頂く中で学ぶことが多く、今まで関わった方々のお陰で成長することができ、今の自分があると感じます。

これからお会いする方々との出会いを大切にしながら、少しでも皆様のお役に立てるよう新年度も精進して参りたいと思います。

ソーシャルワーカー 兼子 はるか

一般社団法人 巨樹の会



〒115-0055 東京都北区赤羽西6丁目37番12号
 TEL：03-5993-5777 / FAX：03-5993-5778
 E-mail：info@akabane-rh.jp



■徒歩ルート

本連沼駅A1・A3出口を出て西が丘サッカー場方面に徒歩で直連約6分

■バス(国際興業バス)ルート

赤羽駅西口4番乗場「池袋」行・「日大病院」行に乗車
 →「国立西が丘競技場北門」下車徒歩約3分